

るもい農業「人」と「食」の交流推進協議会

農業と福祉の連携による新たな商品開発、そして地域の活性化

活動分類

- 健康・福祉
- 食・産業・観光

活動背景・目的

留萌地域内外とのさまざまな交流活動等を通じ、農業者の意欲向上、地域農業・食の発信、消費者・都市住民との交流を推進。

留萌市の農水産物や豊かな食をはじめとした地域資源と農業の多面的機能に着目し、地域内外とのさまざまな交流活動等を通じて、農業者等の意欲の向上、地域農業・食の発信、消費者・都市生活者との交流を推進し、農村地域の再生と持続的な発展や、新たな産業形成と基盤の強化を図ることを目的としています。

代表者： 中原 耕治

連絡先：

〒077-8601 留萌市幸町1丁目11番地
(留萌市農林水産課)
TEL: 0164-42-1837

活動地区：留萌市

活動内容

・農家や障がい者等、多様な担い手が連携し、新たな農産加工品づくりに挑戦

減圧平衡発熱乾燥機を使い、生産から乾燥加工まで、オール留萌産のてぎり干し大根の商品化による、スモールビジネスモデルの構築。障がい者の就労支援作業所「NPO法人ふれあいの家」のメンバーを中心に大根収穫、製造、袋詰めまでを一貫して行っています。

・循環型資源を活用した新たな冬野菜の栽培

バイオマス資源(廃食油、BDF)と新技術により、冬期間にも出荷可能なアスパラなどの付加価値の高い産直野菜づくりを行っています。

・南るもい産野菜、花きの生産者支援と、都市と産地を結ぶ活動

「最北のトルコギキョウ産地」など地域の特徴を生かした花きの販路拡大、産直イベントの開催や都市への情報発信などを行っています。

・花き栽培を通じて、集落の活性化や地域づくりを目指す新たな人材を応援

花き栽培を通じた農村集落の活性化に向けた地域活動や農作業支援など、新しい人材を積極的に受け入れています。



今後の展望・課題など

○展望

・廃校舎の一部を改修し、ここを拠点に農業と福祉が連携しながら事業を展開していく。

○課題

・新たな担い手の確保と、安定的な販路開拓による収支均衡化、農産加工品によるスモールビジネスを目指す。